

市民参加型温暖化影響モニタリングのWebサイトを開設しました

温暖化対策班 畑中 健一郎

最近桜の開花が早くなった！ 紅葉するのが遅くなった！ と感じていませんか？ 地球温暖化はすでに各地にさまざまな影響を及ぼしています。環境保全研究所では、地球温暖化が県内の自然に及ぼす影響を把握するために、市民の皆さんから情報を提供していただくための仕組みづくりに取り組んでいます。

「〇月〇日に△△市の□□公園で今年初めて〇〇〇〇が鳴いた」といった情報を県内各地から提供していただき、これを毎年継続していくことで温暖化の影響を知ることができます。桜が開花したりウグイスが鳴いたりする時期が少しずつ早くなる様子がわかるかもしれませんし、もともと県内でも南部にしかいなかったチョウやセミが少しずつ北上していく様子もわかるかもしれません。この事業に参加していただくことで、温暖化を身近な地域の問題としてとらえ、温暖化対策にも積極的に取り組んでいただくことを期待しています。

このような季節情報を市民の方から提供していただくための一つの方法としてWebサイトを開設しました。題して「信州・温暖化ウオッチャーズ」。環境保全研究所のホームページから入ることができますので、どんな情報が登録されているか是非のぞきに来てください。見るだけならどなたでも見るができます。観察した情報を登録するためにはユーザー登録申

2012年春の主な観察対象

- ・鳥や虫の初認（ツバメ、ウグイス、カッコウなど）
- ・花の開花（カタクリ、ソメイヨシノ、リンゴなど）
- ・田んぼの水張り、田植えなど
- ・私が見つけた温暖化（自由項目）

請が必要です。登録承認のメールが届いたら、ログインして情報を登録することができます。現在（2012年春）は表のような情報を募集しています。これらをいっどこで確認したかを、マップの画面上をクリックして登録します。登録した情報はすぐにマップに反映され、インターネット上に公開されます。まだ始まったばかりであり多くの情報はありませんが、これから多くの方にご協力いただくことで少しずつ増やしていきたいと思っています。



観察情報の登録ページ

この仕組みづくりを検討するために、県内外の9名の方を委員に委嘱して、これまでに5回の検討会を開催しました。今後は、このWebサイトの改良のほか、FAX等で情報を提供していただくための仕組みや、参加者の方と交流を図る方法などを検討していきます。

※この事業は環境省の委託研究(環境研究総合推進費S-8)の一環として実施しています。また、Webサイトの構築と運用にあたっては、中部大学中部高等学術研究所国際GISセンターならびに株式会社ファルコンのご協力をいただいています。



信州・温暖化ウオッチャーズサイト